
みみなり

亜倉 暮亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

みみなり

【Nコード】

N3266Z

【作者名】

亜倉 暮亜

【あらすじ】

真つ暗な誰もいない部屋で、わたしはひとり、耳鳴りを聞いていた。

個人サイトにて同じ作品を発表しています。

(とくん) ぞくっ。(とくん)
ぞくっぞくっぞくっぞくっぞくっぞくっ。

(脈が震えてる)

鼓動と耳鳴りが重なる。

ときどき心臓の鼓動だけが、わたしの胸から鳴った。
わたしの耳鳴りが不整脈のように脈打つ。

ぞくっ。(とくん) ぞくっぞくっ。

(とくん)ぞくっ、ぞくっ。 ゑんぞんぞん。

わたし、死んじゃうんじゃないかな。と思ったけれど。
きつとそんなのはただの杞憂で。

明日もわたしは耳鳴りを聞いているに違いないのだ。

耳鳴りが、わたしの鼓膜に突き刺さる。

ぞくっ。 ぞくっ、ぞくっ、ぞくっ。

ぞんぞんぞんぞんぞん、 ぞくっ、ぞくっ。

ぞくっ。 ぞくっ、ぞくっ。

(穴を掘ってるみたい)

耳の奥にスコップを持ったおっさんでもいるんじゃないかなろうか。
誰もいない部屋で、私は体を小さく丸めた。
わたしの耳鳴りが不毛に鼓膜に突き刺さる。

ギョッギョッギョッ。 ゼクッ。
ゼクッ、、ゼクッ、、ゼクッ、、ゼクッ、、ゼクッ、。

鼓膜の穴には何を埋めるの。と考えたけれど。
私の鼓膜からは水が湧くのだということ思い出して。
それから布団を頭までかぶった。

耳鳴りが、わたしの頭をかきまわす。

キーン。 グアーン。

キーン。

キューーン。

(遠近感も上下も左右もわからない)

真っ暗で静かなはずの部屋。

なにかに激しく責め立てられているのだった。

わたしの耳鳴りが不協和音のようにわたしの頭をかきまわす。

ツーン。

キーン。 ギーン。

やめてやめて。とわたしは叫んだけれど。

それはとてもかすれた声で。

そしてこれはわたしにしか聞こえない耳鳴りなのだった。

耳鳴りが、鳴らない。

(なにも、聞こえない)

とんでもなく静かなこの真つ暗な部屋で。
わたしは両手で耳をふさいだ。

(とくん) (とくん)

(とくん)

心臓の鼓動だけが。

あいかわらずわたしの鼓膜を震わせた。

(聞こえないはずの音が聞こえます)

静寂とはかくも脆弱なのか。とわたしは唇を動かしたけれど。
息が歯の間を抜ける音だけがして。

そして耳鳴りがリズムを刻み始めたのだった。

(後書き)

補足

滲出性中耳炎

中耳に浸出液がたまって
いる状態。
痛くない中耳炎。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3266z/>

みみなり

2011年12月11日10時46分発行